令和4年度入学生対象

令和４年３月現在

別記様式2

副 専 攻 プ ロ グ ラ ム 説 明 書

開設学部（学科）名〔　教育学部(第四類)　〕

プログラムの名称	（和文）	健康スポーツ教育副専攻プログラム
	（英文）	Health and Sports Education

１．概要

健康やスポーツに関する内容及び身体の動きについてスポーツ科学の立場から検証を行う実践的なプログラムである。スポーツ内容学科目，スポーツ実技科目に関する授業を有機的に組み合わせることにより，健康スポーツ教育について広い視野を持つ知見と実践力の修得をめざす。

２．到達目標

副専攻プログラムの開始時期は，原則として２年次である。既修得要件は特に設定しない。

１．スポーツ実技とその内容をスポーツ科学の理論をもとに理解する。

２．スポーツ実技とその内容の理解をもとに実践法やリサーチワークの方法を身につけ，総合的，批判的に検討できる能力の獲得を目指す。

３．登録時期

「プログラム登録時期」は，副専攻プログラムを履修するにあたり，履修開始後の登録（事後登録）は可能である。

４．登録要件

本プログラムの「専門基礎科目」と「専門科目」の履修を必修とする。

実験および演習の科目において人数制限を行うことがある。

５．受入上限数

10名から15名

６．授業科目

「専門基礎科目」

スポーツ内容学科目：

健康・スポーツ総論，救急看護法，公衆衛生学，バイオメカニクス，生涯活動教育論，
体育科教育概論，体育科カリキュラムデザイン論

スポーツ実技科目：

陸上競技，体つくり運動・器械運動，ダンス，水泳，武道A（柔道），武道B（剣道），
球技A（バレーボール），球技B（サッカー・ソフトボール），
球技C（バスケットボール），球技D（テニス），
野外活動演習（登山・キャンプ），野外活動演習（ウィンタースポーツ），
トレーニング実習Ⅰ

「専門科目」

スポーツ内容学科目：《　　》はセット科目を表示

《スポーツ生理学，スポーツ生理学演習》，《スポーツ社会学，スポーツ社会学演習》，
《スポーツ経営学，スポーツ経営学演習》，《身体表現論，身体表現論演習》，
《コーチング論，コーチング論演習》，
スポーツ医学，トレーニングと評価，学校保健，スポーツ心理学，
体育科教育概論演習，体育科授業プランニング論演習，保健体育科教育方法・評価論

スポーツ実技科目：

陸上競技指導演習，器械運動指導演習，ダンス指導演習，水泳指導演習，武道指導演習A（柔道），武道指導演習B（剣道），球技指導演習A（バレーボール），球技指導演習B（ゴール型・ベースボール型），球技指導演習C（バスケットボール），トレーニング実習Ⅱ

※授業内容は，各年度に公開されるシラバスを参照すること。

７．修了要件

履修表に掲げる科目のうち，必要な単位数を取得すること。

８．責任体制

本プログラムは，主として教育学部の健康スポーツ系コースを担当するスタッフによって遂行される。その責任はプログラム責任者（健康スポーツ系コース主任）にある。

９．既修得単位等の認定単位数等

（１）他大学等における既修得単位等の認定単位数等

（２）広島大学における既修得単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)の認定単位数等

（１），（２）併せて8単位までとする

【副専攻プログラム履修に関する注意事項】

〇主専攻プログラムの授業時間割の関係で，登録した副専攻プログラムの授業科目履修が制限されることがある。

〇副専攻プログラムで開設されている授業科目も，本学共通の平均評価点（GPA）の計算対象に含まれる。

別表

健康スポーツ教育副専攻プログラム　履修表

科目区分	授業科目	開設単位数	履修セメスター						要修得単位数	開設学部	備考
			3セメ	4セメ	5セメ	6セメ	7セメ	8セメ			
専門基礎科目	生涯活動教育論	2		○					20	教育学部	
	健康・スポーツ総論	2		○							
	救急看護法	2	○								
	公衆衛生学	2		○							
	バイオメカニクス	2	○								類共通科目
	体育科教育概論	2	○								
	体育科カリキュラムデザイン論	2		○							
	陸上競技	1	○								主専攻プログラムでは1セメ
	体つくり運動・器械運動	1		○							主専攻プログラムでは2セメ
	ダンス	1	○								
	水泳	1	○								
	武道Ａ（柔道）	1	○								
	武道Ｂ（剣道）	1	○								主専攻プログラムでは1セメ
	球技Ａ（バレーボール）	1	○								主専攻プログラムでは1セメ
	球技Ｂ（サッカー・ソフトボール）	1	○								主専攻プログラムでは1セメ
	球技Ｃ（バスケットボール）	1		○							主専攻プログラムでは2セメ
	球技Ｄ（テニス）	1	○								
	野外活動演習（登山・キャンプ）	2	○								主専攻プログラムでは1セメ
	野外活動演習（ウィンタースポーツ）	2		○							
	トレーニング実習Ⅰ	1		○							主専攻プログラムでは2セメ
専門科目	スポーツ生理学	2			○						
	スポーツ生理学演習	2				○					
	学校保健	2		○							
	スポーツ医学(ｽﾎﾟｰﾂ栄養学を含む)	2			○						
	スポーツ社会学	2		○							
	スポーツ社会学演習	2				○					
	スポーツ経営学	2			○						
	スポーツ経営学演習	2				○					
	スポーツ心理学	2				○					
	体育科教育概論演習	2				○					
	体育科授業プランニング論演習	2				○					
	保健体育科教育方法・評価論	2			○						
	身体表現論	2		○							
	身体表現論演習	2				○					
	スポーツコンディショニング論演習	2				○					
	コーチング論	2			○						
	コーチング論演習	2				○					
	トレーニングと評価	2					○				
	陸上競技指導演習	2	○								
	器械運動指導演習	2		○							
	ダンス指導演習	2		○							
	水泳指導演習	2			○						
	球技指導演習Ａ（バレーボール）	2			○						
	球技指導演習Ｂ（ゴール型・ベースボール型）	2	○								
	球技指導演習Ｃ（バスケットボール）	2		○							
	武道指導演習Ａ（柔道）	2			○						
	武道指導演習Ｂ（剣道）	2			○						主専攻プログラムでは3セメ
	トレーニング実習Ⅱ	1		○							
合計									20		

〈履修上の注意〉

1．履修ｾﾒｽﾀｰの○印は標準履修ｾﾒｽﾀｰ
2．専門基礎科目および専門科目から20単位以上を取得し、3および4の条件を両方満たすこと。
3．専門基礎科目の中からスポーツ実技科目4単位以上を取得する。
4．専門科目の中から講義と実技または演習のセット科目（4単位）を2科目以上（8単位以上）を取得する。